



### 第2回学校評価へのご協力、ありがとうございました

日毎に春の息吹を感じる今日この頃です。

平素は本校教育にご理解とご協力いただき、誠にありがとうございます。また、1月末にはお忙しい中、2回目の学校評価アンケートにご回答いただきありがとうございました。前期にご紹介した項目について後期も掲載し、一緒に考えていきたいと思っております。多くの皆様からのご意見を大切に、今年度の取組のまとめと来年度への課題を明らかにして、今後の翔鸞教育に生かしてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

◎よくあてはまる ○どちらかといえばあてはまる △どちらかといえばあてはまらない ×あてはまらない  
◎と○の結果を「達成している」項目と考えて、考察と改善策を考えています。

#### <確かな学力>

評価項目		児童 (%)	保護者 (%)
子どもが、人の話を聞くこと	前期	87.9	77.2
	後期	89.3	76.6
子どもが分かりやすい授業であること	前期	92.1	87.8
	後期	88.8	87.0
子どもが、自分の思いや考えを書いたり話したりすること	前期	74.0	64.5
	後期	75.1	66.2
子どもが、1か月に5冊以上本を読むこと	前期	72.5	39.6
	後期	76.1	49.7
子どもが、毎日決めた時間に家庭学習に取り組むこと	前期	68.4	62.4
	後期	68.8	63.2



#### ◆考察と改善策

- ・わずかですが、「分かりやすい授業」のポイントが下がっています。後期に入って学習内容が難しくなっていると考えられます。板書や発問の仕方の工夫、掲示物の準備等、教材研究に一層力を入れていきたいと思っております。また、必要な児童には、今まで同様個別の支援をしたり、課外学習の時間に補習をしたりして、学習内容が理解できるように取り組みます。
- ・「家庭学習」については、子ども達が自分の時間を自分で計画的に使えるようにというねらいで取り組んでいるのですが、なかなか計画通りには進められない様です。6年生は、宿題などの家庭学習を1週間単位で提出するようにしてきました。初めはとまどっていた児童も、習い事のある曜日は家庭学習の時間を短くして余裕のある曜日に長くするなど、徐々に1週間の計画を立てて取り組めるようになったようです。低学年は、まだお家の方のご協力をいただかないと難しいかと思っております。今後も、学年に応じた取組をしていきます。
- ・「読書」については、学校で設定された時間にはするが、まだ自主的には取り組めていない児童が多いようです。学校では、継続して朝読書の時間を設けています。1日10分間ですが、毎日本を手にする事で読書が身近になり、教室では給食を待っている時やテストが早く終わった時など、少しの時間でも本に向き合う姿が見られます。  
学校では、前日のお帰りの前に机の上に朝読書の本を用意したり、読みかけの本を入れる袋を机の横に下げたりして、すぐに読書ができるようにしたり、また、読書ボランティアの方によるぐんぐんタイムや雨の日の読み聞かせ活動をしたり、国語の教科書で学習する読み物と同じ作者やテーマの本を教室に用意したり、図書室に「実のなる木(100冊・規定のページを読むと実を貼りつける木)」を用意したりと、読書に関心を持つような様々な取組をしています。  
ご家庭でも、お子さんと一緒に本や新聞を読んだり、また読んだ内容について話をしたりする時間を作っていただければと思います。

#### <豊かな心>

評価項目		児童 (%)	保護者 (%)
子どもが、進んであいさつすること	前期	95.8	79.2
	後期	93.7	82.1
子どもが、自分も友達も大切にすること	前期	94.9	93.4
	後期	95.1	91.5
子どもが、学校で楽しく過ごすこと	前期	93.6	90.8
	後期	93.7	93.5

おはよう  
ございます



子どもが、きまりや約束を守ること	前期	91.6	80.7
	後期	90.3	82.1



### ◆考察と改善策

- どの項目も、概ねできていますと評価されています。ただ、少数ではあっても、「自分や友達を大事にする」「学校で楽しく過ごす」ということができていない児童がいるので、その子達の思いを聞き、受けとめて、しっかり対応していきたいと思います。
- 「きまりや約束を守ること」については、次の「危ない遊びをしない」の項目と関係しているのですが、何度注意されても校内の走ってはいけない所（廊下や本館玄関周り、藤棚の辺り、渡り廊下等）を走って怪我をするということがあります。また、持ち物が揃わなかったり、逆に不必要なものを持っていたりすることがあります。なぜこの約束があるのかということを引きちんと理解し、自分で考えて行動できるように、今後も続けて指導をしていきます。

### < 健やかな体・学校独自の取組 >

評価項目		児童 (%)	保護者 (%)
子どもが、毎日朝食を食べること	前期	93.0	93.4
	後期	92.7	92.5
子どもが、早寝・早起きをすること	前期	68.0	69.0
	後期	65.4	57.2
子どもが、安全に気をつけて登下校すること	前期	97.6	92.4
	後期	98.1	97.5
子どもが、危ない遊びをしないこと	前期	95.8	91.4
	後期	94.6	95.5
地域や保護者と協力して子ども達の安全を見守ること	前期		92.9
	後期		93.6



### ◆考察と改善策

- 朝食については、毎日食べて登校している児童が多いです。きちんと用意をしていただいていること、大変ありがたく思います。朝食は、一日のスタートを切る上でとても大切です。朝食は一日の活動のエネルギーとなりますので、早く起きて、しっかりと朝食を食べてから登校してほしいと思います。
- 早寝・早起きについては、毎回「できている」の評価が低いです。睡眠は、とても大切です。睡眠によって昼間の疲れがとれますし、成長期の子ども達は、寝ている間に成長ホルモンが出て体がしっかりとつくられていきます。今後も、睡眠時間を大切にしよう、身体の成長など健康面から、そして、気持ちの安定など精神面からも指導を続けていきます。
- 授業中に「しんどい。」と言って保健室に行き、ベッドで熟睡している子がいます。朝から「お腹すいた。」と言う子にたすねると、菓子パン1つだけやスナック菓子だけという子がいます。寝坊をして食べる時間がなかったり、夜遅くまで起きていたので食欲がなかったりするようです。「早寝・早起き・朝ごはん」を実践して、健康な毎日を過ごしてほしいと思います。学校でも指導しますので、ご家庭でもご協力をお願いいたします。

### 《学校運営協議会委員の皆様からのご意見》

- 学習面では、勉強が分からない子どもがそのままにならないように見てあげてほしい。分からないことが分かるようになると、勉強が楽しくなると思います。
- 自分の思ったことを書いたり話したりできているという項目のポイントがやや低いが、たくさん子ども達が理由付けをして自分の意見を発表できていると思います。
- 発表で間違えたことでも、皆が否定するのではなく、受け入れてあげている姿を多々みました。とてもよいことだと思います。
- あいさつは、家でも学校でも意識して習慣づけていかなければいけないと思います。
- 毎朝の子どもの見守りの時、必ず自分から言葉をかける。その後、夕方でも公園で出会うと、子どもから言葉をかけてくれたり、手を振ったりしてくれる。私はうれしくて、共に手を振って言葉を交わす。こうした地域の方々の目が子どもに向くよう、みんなが協力しよう。
- 下校の見守り時、低学年の女子児童より「明日、よろしくお願いします。」とあいさつされました。明日の昔遊びの授業のことでした。「おはよう」「さようなら」以外のこのような自発的な言葉をかけられ、思わず微笑みました。
- あいさつを、自分から進んでできる子が多くなったように思います。学校での取組も、続けていければと思います。
- 学校で子ども達の様子を見てみると、男女で仲がいいと思います。
- 小学生の子どもを自転車の後ろに乗せているところを見かけるが、乗せてもよいのは6歳未満なので、保護者の方も交通ルールを守ってほしい。

- 登校している子ども達の様子を見ていると、ゲームの話をしていることが多い。ゲームが悪いのではなく、子どもと相談して約束を決めることが大事だと思う。友達同士や親子と一緒にゲームをして楽しむのは良い事で、ゲームを有効に使えたらいい。ゲームばかりになると、宿題をするのが遅くなったり、寝るのが遅くなったり、外で体を動かさなくなってしまう。親が自分の子どもをどう育てたいのか、しっかりと考えて対応していくことが大切だと思う。
- まだまだ、地域の活動に対して積極的に参画する方は少ないようです。PTAの役割だから手伝うのではなく、楽しんで行える仕組みができればと思います。

## 自由記述欄に寄せられたご意見から（内容をご紹介します）

### ○学習・生活について

- ・いつも楽しく通えていることに、感謝しています。これからも、楽しい学校であってほしいと願っています。
- ・宿題の取組や週の予定表など、親にも分かりやすく、よく伝わっていると思います。子どもも自主的に取り組み、うれしく思っています。
- ・低学年の時は自分の意見を言うのが苦手でしたが、中学年になり授業参観に行くと、手を挙げて意見を言えるようになってきました。成長を感じます。
- ・地域の方に、翔鷲の子はみんなきちんとあいさつできると、ほめていただきました。学校があいさつを重視している効果だと思います。
- ・子ども達の言葉遣いが汚いのが、とても気になります。教師がていねいな言葉で授業をしているのに、発表する子どもの言葉遣いがぶっさらぼうで、時と場合を考えて話しているとは思えないです。当然、子ども同士で話している言葉は、もっとひどいです。
- ・自転車の乗り方が危険。自分は大丈夫という感じの児童を見かけます。
- ・時代なので仕方ない事なのだろうが、放課後や休みの日は外に遊びに行かず、ほとんどテレビかゲーム。お友だちが遊びに来てても、一緒にゲーム。公園へ行ったらと言っても、誰もいないしと言う。外で思いっきり体を動かしてほしいと願います。

- ⇒子ども達の成長を見ていただけるのは、大変ありがたい事だと思います。学年が上がり、自主的にできるようになったり、積極的にできるようになったりすることが増え、それを認めてほめてもらえることで、子ども達はさらに頑張れることと思います。ご家庭でも、たくさんほめてあげてください。
- ・自転車の乗り方や放課後の遊び方、言葉遣いなど、指導が必要なことはまだまだたくさんあります。学校と家庭とで協力して進めていくことが大切だと思います。よろしくお願いします。

### ○PTA・地域について

- ・PTAの行事や活動は、役員をした人でないと分からないくらい大変でした。役員の負担をもっと減らさないと、継続して役員を続けようという気持ちにはなれません。
- ・PTA活動に子どもも参加していないため、PTAの役員になると大変というイメージしか持てていません。子どもが、PとTが自分達のために活動してくれていると感じられる、Pとしても、子どものために活動したいと思える行事・活動を考えていければいいと思います。
- ・学校・地域の行事の時には、保護者の方達が時間を工面して、毎回多くの方々が参加・協力するところが素晴らしいと思います。中学・高校では小学校ほど関わる事が少なくなるので、6年間という歳月に、わずらわしい事もあるけれど、親として参加・協力する事が多い方が、後々の親子関係、小学校の思い出、経験に、色濃くプラスになると思います。子どもが高学年になって役を引き受けると、手が離れた分、気持ち的にゆったり取り組める事に気がきました。様々な学びの機会をいただきました。
- ・地域の方の力（見守り、様々な行事へのお手伝い）が、とても大きいです。ただ、どれ程お手伝いしてくださっているかをご存じない保護者の方も多いと思うので、それは残念に思います。
- ・地域や先生方の様々な場面での協力の「目」があることで、子ども達は安心・安全を守られていると感じます。学校・地域・保護者の声かけによって、子ども達の喜びやSOSに気づき、一緒になって楽しんだり解決に向かって団結できたりすると幸いです。

- ⇒PTA本部役員や専門部の皆様には、子ども達のために、学校や地域のために、何かとお世話になっています。前期広報誌「はばたき」にも、たくさんのご意見をいただきました。平成29年度PTA本部役員の方々は、色々と案を出して話し合ってくださいました。平成30年度の本部役員の方々も、よりよい方法を話し合ってくださいることと思います。学校も一緒に取り組んでいきたいです。PTA会員の皆様も、ぜひ、たくさんアイデアをお寄せいただき、みんなでよりよいPTA活動にしていければと思います。よろしくお願いいたします。

### ○アンケートについて

- ・毎回アンケートを見ながら、家庭での子どもの生活を反省しています。毎回少しずつは良くなっているかなと感じながら、次回のアンケートまでもう少し工夫をして、改善していきたいです。
- ・どの項目も重要だと思いました。実現度はまだまだですが、親子で大切な意味を確認しながら「よく出来た」に近づけていきたいです。
- ・保護者に対するアンケートではなく、実際に学校に通っている児童にアンケートをとった方が、正確な評価になるのではないのでしょうか。見ていない部分の評価は、一応子どもの話も聞いてはいますが、想像でしかないので、どうかと思います。
- ・アンケートで率直な回答をしやすくするため、個人が特定できない様に無記名で行う方がよいと思う。

・このアンケート、やめましょう。

- ⇒アンケート内容を、生活を振り返るために使っていただいているのはありがたいです。重要度を記載していませんが、重要度はどの項目もほぼ100%になっています。重要と考えるけれどなかなかできない、ということに目を向けて取り組んでいきたいと思えます。
- ・アンケートは、京都市全体で実施しているものですので、本校だけやめるといことはできません。項目については毎年検討していますが、まだ改善すべき点があります。来年度も検討をして、より学校の良い点や課題が見えてくる項目にしていきます。
  - ・無記名で提出していただいても構いません。ただ、お名前をご記入していただいても、率直なご意見を書いていただければありがたいです。実際に、お名前を書いていただいていることで、アンケート後すぐにお話をさせていただいていることもあります。個別対応させていただいた方がよいこともあります。良い事だけでなく、課題と思われることも教えてください。

## ○学校の取組について

- ・もっと、学校の取組を保護者の方にも知ってもらいたいですね。研修や方針など、子どものために色々なことをしてくださっていることを知ることで、より学校と保護者との絆も深まっていくと思えます。学校のHPやおたよりを、多くの人に見てもらえるようにしていただきたいと思います。
- ・学校の取組がどんなものか、なかなか見えてこない。
- ・翔鷲校は、五輪大会のマスコットの投票に参加登録されたのでしょうか。良い思い出になると思うので、ぜひ参加できるようにお願いしたいです。

- ⇒五輪大会のマスコット投票は、平昌オリンピックが始まってからの方が興味が持てるかなと思ひ、今年に入ってから参加しました。翔鷲校でも人気の高かったマスコットが当選しました。大会組織委員会から参加した学校に感謝状が届き、北校舎西入口に飾ってあります。
- ・学校HPには、今年度3月15日現在で530件の記事や文書を発信しています。また、毎月の学校だよりやほけんだより、毎週の学級通信、年間2回のコミュニティーだよりなどで、たくさん情報や取組を発信してきました。また、年間4回の授業参観や3回の懇談会、2回の自由参観、家庭訪問や個人懇談会などもさせていただきましました。その他、行事等で学校へお越しいただく機会もあるかと思ひます。学校としても、できるだけ色々な情報を発信していきますので、配布物やHPの記事をご覧ください。学校へお越しただいで学校や子ども達の様子をご覧ください。何かお気づきのことがありましたら、お気軽に学校へご相談ください。また、日々の学校生活については、連絡帳やお電話などで担任と連絡を取っていただき、子ども達を真ん中にして保護者の皆様と地域の皆様、学校とが協力し、よりよい翔鷲小学校にしていきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。



## 《お知らせ》

今年度も、子ども達の安全の見守りや学習の支援等で、たくさんの地域の皆様にご協力をいただきました。その様子を掲載した「翔鷲コミュニティだより」を、地域委員様を通じて回覧させていただきます。

- ・社会科や生活科の学習で子ども達が校区たんけんをする時に、安全面の見守りをしていただいたり、安全に関わる設備について教えていただいたりしました。
- ・社会科や生活科の学習で、昔の道具の使い方や昔遊びの仕方を教えていただきました。
- ・葉牡丹や野菜等の栽培活動の時に、世話の仕方を教えていただいたり、手伝っていただいたりしました。
- ・各教室で、子ども達に本の読み聞かせをしていただいたり、図書館の本の整理をしていただいたりしました。
- ・子ども達の登下校の時に、通学路に立って、子ども達の安全を見守っていただきました。
- ・毎月第1日曜日の朝、校内の清掃や整備をしていただきました。

「翔鷲コミュニティだより」をご覧ください、少しでもお力を貸していただければ幸いです。是非、学校までお声かけください。よろしくお願ひいたします。

**地域とともにある 学校づくりをめざして**